

「地産地消市場が力に」

富士市学校給食
地場産品導入協

農水大臣賞を報告

県 庁

「三方よし」を合言
葉に、学校給食への地



農林水産大臣賞の受賞を報告する坂野会長（左）ら＝県庁

場産品納入システムを構築し、農林水産省の地産地消優良活動表彰で農水大臣賞を受けた富士市学校給食地場産品導入協議会（会長・坂野友広・富士中央青果社長）が10日、県庁に川勝平太知事を訪ね、受賞を報告した。

会の役員3人とともに訪ねた坂野会長は「同じ目標を持ち学校給食と納入側が相互理解を進めたこと、地産地消では例が少ない市場の参加が大きな力に

なった」と報告し、川勝知事は「子供を相手に、やりがいがあるでしょう」とたたえた。会は市内の生産者、学校給食、市場、納入業者、消費者、県などで構成する。地場産品の生産状況を知る市場と献立を考える栄養士が隨時情報交換し、学校に安定的に食材を納入している。生産者と流通業者、学校給食の「三方」にとって有益な活動としている点が評価された。